

被災地が日常を 取り戻すために

支援の現場から見た住まいと生活の復旧・復興

相次ぐ大災害は、住み慣れた住まいや日常を突然奪います。
被災地に寄り添い、住民の声に耳を傾けながら生活再建の支援を
続けてきた松山氏に、その過程で見てきた現場の課題や支え
について提起していただきます。
被災後も希望をつなぎ、前に進むため必要なことは何か——
ともに考える機会にしてみませんか。


参加費
無料

対象
どなた
でも

定員
会場受講
40名
応募多数の場合抽選

2025 **11.22** **土**
10:00～11:30(受付9:45～)
浜松市防災学習センター 3F講座室

お申込み 締切: 2025年 11月11日(火)

 ホームページで

右記のコードより
お申込みください。

※締切後、ご案内をメールにてお送りします。
フォームに記載のアドレスが受信できるよう
に、設定をお願いいたします。



 往復ハガキで

以下の必要事項をご記入のうえ当センターまでご郵送ください。
(宛先: 〒430-0941浜松市中央区山下町192番地)

①講座名 ②氏名 ③年代 ④性別 ⑤郵便番号⑥住所 ⑦電話番号



災害対応NPO MFP代表
講師 **松山 文紀** 氏

阪神・淡路大震災をきっかけに、復旧復興支援活動に携わる。東日本大震災以降も全国で災害の対応にあたり、2013年4月より震災がつなぐ全国ネットワークの事務局員、2019年6月まで事務局長を担当。2019年7月、静岡に戻り災害対応NPO MFPを立ち上げた。現在も全国各地の被災地で、住まいや生活再建の支援に尽力している。

